

北海道薬剤師会と北海道病院薬剤師会の合同研修会の共同開催について

北海道薬剤師会と北海道病院薬剤師会では下記のように15回目の合同研修会を開催いたします。連携強化は、良質な医療を提供するためにも必要不可欠なものです。各地域における取り組みから地域連携の必要性があらためて理解できるものと思いますので、皆様のご参加をお願いします。

北海道薬薬連携シンポジウム 2023

日時：令和6年2月18日（日曜日） 13:00～16:30

ハイブリッド開催（ライブ配信）

主催：（一社）北海道薬剤師会、（一社）北海道病院薬剤師会

共催：（一社）札幌薬剤師会、札幌病院薬剤師会

会費：日薬・日病薬会員500円、非会員1,000円

定員：現地30名、WEB500名

研修単位：（公財）日本薬剤師研修センター研修受講単位2単位（申請中）

（一社）日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度2単位（申請中）

日本腎臓病薬物療法学会腎臓病薬物療法専門薬剤師認定制度（申請中）

テーマ：地域で連携して進めるCKD患者への最適な薬物療法

■開会挨拶 13:00～13:05

【話題提供】 13:05～13:20

CKDに関する話題 ～その概念の誕生から今日まで～

医療法人溪和会 江別病院 薬局長 高山 慎太郎 先生

【発表】 13:20～14:35

病院薬剤師によるCKD地域連携・多職種連携に向けた取り組み～

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院薬剤部

統括主任 小島 雅和 先生

調剤薬局の研究発表から始まる薬薬連携

～CKD関連項目の意識に関する実態調査より～

株式会社なの花北海道 なの花薬局美しが丘店

薬局長 桜田 尚季 先生

お薬手帳に貼付する「はこだてCKDシール」を活用した地域連携

－薬剤適正使用するためのCKDシール運用のはじめ方－

株式会社函館調剤薬局 はこだて調剤薬局中道店

管理薬剤師 矢羽羽 雅行 先生

■休憩 14:35～14:45

【特別講演】 14:50～15:45

慢性腎臓病の治療法について

独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター 腎臓内科

医長 柴崎 跡也 先生

■休憩 15:45～15:55

【総合ディスカッション】 15:55～16:25

■閉会挨拶 16:25～16:30

「北海道薬薬連携シンポジウム 2023」開催のご案内

テーマ：～地域で連携して進める CKD 患者への最適な薬物療法～

北海道薬剤師会と北海道病院薬剤師会が共催する「北海道薬薬連携シンポジウム 2023」につきましてハイブリッド形式で開催いたします。

今年で 15 回目の開催となる今回は、話題提供として江別病院薬局・高山慎太郎先生からは、最近の CKD、江別市の状況、2024 年に札幌で開催される日本腎臓病薬物療法学会学術集会についてお話いただきます。

発表では、病院薬剤師の小島雅和先生（手稲溪仁会病院薬剤部）から、検査値付き院外処方箋発行に伴う「腎機能低下を発端とした疑義照会」への活用と薬薬連携、本年度より開設された CKD 外来について、薬剤師・看護師・管理栄養士による CKD 患者への指導の状況、病院・薬局を対象とした多職種参加型症例検討会および薬局薬剤師対象の CKD に関する定期的な勉強会を実施することによる連携強化と CKD 患者に対する薬学的介入のボトムアップなどの取組みについてお話いただきます。薬局薬剤師の矢羽雅行先生（はこだて調剤薬局中道店）から、地域連携で薬剤適正使用するための CKD シール運用のはじめ方について、並びに桜田尚季先生（なの花薬局美しが丘店）から、薬局薬剤師の CKD に関する意識調査の内容から適正使用ガイドを作成し、疑義照会や情報提供を通じて病院薬剤師の先生方と連携してきた内容についてご紹介頂きます。

特別講演では、北海道医療センター腎臓内科医長・柴崎跡也先生から、薬物療法を中心に講演頂き、生活習慣の改善、更には腎代替療法についても概説いただく予定です。

ご多忙のこととは存じますが、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

令和 6 年 1 月 吉日
北海道薬剤師会 副会長 野田敏宏
北海道病院薬剤師会 副会長 遠藤 泰

2024 年 2 月 18 日(日曜) ハイブリッド開催

13 時～16 時 30 分(予定)

<現地参加会場・WEB 配信会場>

北海道薬事会館 3階研修室 札幌市豊平区平岸1条8丁目 5-12

「北海道薬薬連携シンポジウム2023」参加申し込み方法

下記ホームページから入り、薬剤師研修プラットフォームに登録してからお申し込みください。

申し込み期間：令和 6 年 1 月 5 日(金)～2 月 5 日(月)

■北海道薬剤師会ホームページ

医療従事者向けサイト

<http://www.doyaku.or.jp/medical/index.html>



※(公財)日本薬剤師研修センター研修受講単位2単位(予定)、(一社)日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度2単位(予定)の受講シールを交付予定です。どちらか一方の受講単位を選択して下さい(重複交付はできません)。

※日本腎臓病薬物療法学会の腎臓病薬物療法専門薬剤師認定制度受講単位を交付予定です。

※定員(現地参加 30 名、WEB 配信 500 名)になりましたら、参加申し込み受付を終了します。

お問い合わせ先:北海道薬剤師会 病診委員会 係
電話番号:011-811-1112 FAX 番号:011-831-6133
e-mail:kensyu@doyaku.or.jp

北海道薬薬連携シンポジウム 2023（ハイブリッド開催）のご案内

テーマ：地域で連携して進めるCKD患者への最適な薬物療法

日時：令和6年2月18日（日）13：00～16：30

ところ：（現地）北海道薬事会館

【申し込み方法】

- ・申し込み期間は令和6年1月5日（木）～2月5日（月）です。定員は現地30名、WEB500名です。
- ・日本薬剤師会研修プラットフォーム（以下、PF）からお申込みください。

[医療従事者向けサイト | 一般社団法人 北海道薬剤師会 \(doyaku.or.jp\)](https://doyaku.or.jp)

- ・PFへの登録が初めての方は、「新規登録」をしてからお申込みください。詳細は下記マニュアルをご参照ください。
[pptxc06_簡易マニュアルテンプレート \(manaable.com\) p5～](#)
- ・PFへの登録後、シンポジウムへの申し込みが可能となります。「研修を探す」ボタンを押し、「シンポジウム」で絞り込んでください。受講方法と会員区分により下記4通りありますので、該当する区分を1つお選びください。

北海道_北海道薬薬連携シンポジウム 2023（現地受講）（日薬会員・日病薬会員）

北海道_北海道薬薬連携シンポジウム 2023（現地受講）（日薬・日病薬いずれも非会員）

北海道_北海道薬薬連携シンポジウム 2023（WEB受講）（日薬会員・日病薬会員）

北海道_北海道薬薬連携シンポジウム 2023（WEB受講）（日薬・日病薬いずれも非会員）

【受講料の支払い】

- ・日本薬剤師会会員または日本病院薬剤師会会員500円、いずれも非会員1,000円です。
- ・申し込み後にPF上からお支払いください。お支払い方法は、クレジットカード決済、コンビニ決済、銀行振り込みが可能です。

【日本薬剤師会研修センター受講単位（PECS、2単位予定）】

- ・現地にて受講される場合は、日本薬剤師会研修センターのホームページよりご自身のQRコードをプリントアウトして、当日ご持参ください。受講前に1回、受講後に1回の合計2回、受付デスクにて読み取り装置にかざして登録してください。混雑を避けるためにお早めにお越しくださいますようお願いいたします。
- ・WEBにて受講される方は、シンポジウム開始5分前までにZoomへ入室ください。またシンポジウム終了後は主催者側より通信を切断するまで退出しないようにしてください。

【日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度の受講シール（2単位予定）】

- ・現地にて受講される場合は、シンポジウム当日、受付デスクにて施設名と氏名をご記入のうえ、お受け取りください。
- ・WEBにて受講される方は、PF上の「課題」にある「確認テスト」を受講してください。送信期限は令和6年2月25日（日）23時59分までです。

【式次第および講演要旨】 式次第 [PDF](#) 講演要旨 [PDF](#)

当日までにダウンロードしてください。PF からダウンロードできます。

【当日参加 URL】

- ・申し込み時に記載いただいたメールアドレスあてに、2月9日（金）までに「受講のためのご案内メール」をお送りします。メールは【 kensyu@doyaku.or.jp 】より送信します。2月12日（火）までに届いていない場合は下記へご連絡ください。
- ・当日は、参加 URL にアクセス後、①氏名 ②メールアドレス を入力の上ご視聴下さい。登録する時間が必要のため早めにアクセスすることをお勧めします。
- ・携帯やスマートフォンからの受講はお勧めしません。
- ・参加 URL は転用しないでください。

【アンケート回答】

- ・PF にある「アンケート」にご協力ください。

【日本腎臓病薬物療法学会の腎臓病薬物療法専門薬剤師認定制度の受講証（1単位予定）】

- ・日本腎臓病薬物療法学会の会員のみ有効です。

【PF 上の受講履歴の反映】

主催者にて履歴確認作業を行います。シンポジウム終了後 7 日以内にはPF 上へ反映させます。受講履歴が反映されるまでは受講状況が「未受講」のままとなります。

（PF マニュアルには、現地受講の方は、PF の「出席QRコード」ならびに「退席QRコード」を当日、受付にて読み取る旨の記載がありますが、今回のシンポジウムでは主催者が手動で履歴確認を行います。）

【その他】

- ・現地にて受講される方は、公共交通機関を利用してお越しください。
- ・シンポジウム当日に、下記電話番号にてお問合せを受付けます（12：30～13：00）。時間に限りがありますがご了承ください。できるだけ前日までに参加登録を済ませるなどご準備をお願いします。

【お問合せ先】

北海道薬剤師会 医薬情報センター 電話：011-811-1112
e-mail：kensyu@doyaku.or.jp